

【様式第 26 号】別紙 2（診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）の届出）

病院（診療所）名称		整理番号	1	2	3
所在地		区分			
診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）	製作者名				
	型 式				
	定格出力 （単位：MeV）	エックス線			
		電 子 線			
		陽 子 線			
	重 粒 線 （陽子の種類： ）				
製造年月日					
装置の防護	発生管容器の漏洩線量 （利用線錘の放射線量の1/1000以下）		適・否	適・否	適・否
	照射終了直後の不必要な放射線からの被曝低減措置		適・否	適・否	適・否
	放射線発生自動表示装置		有・無	有・無	有・無
	インターロック		有・無	有・無	有・無
使用室	使用室名				
	使用室の構造				
	材 質 等	天井			
		床			
		壁			
	画壁の外側における実効線量（最大値を記入。単位:mSv/週）				
	出入口（1箇所）		適・否	適・否	適・否
	放射線発生自動表示装置		有・無	有・無	有・無
使用室である旨の標識		有・無	有・無	有・無	
使用室内のエックス線装置の使用		有・無	有・無	有・無	
エックス線装置使用時の防護措置		適・否	適・否	適・否	
管理区域	管理区域である旨の標識		有・無	有・無	有・無
	管理区域外側における実効線量 （最大値を記入。単位:mSv/3月）				
	管理区域の境界におけるその他の立入禁止措置		適・否	適・否	適・否
その他	注意事項の掲示（従事者）		有・無	有・無	有・無
	注意事項の掲示（患者）		有・無	有・無	有・無
	敷地内の居住区域及び境界の実行線量 （最大値を記入。単位:μSv/3月）				
	放射線診療従事者等の被ばく防止措置		適・否	適・否	適・否
被ばく防止のための器具（器具名を記入）					
従事者の被ばく測定方法（測定器具名を記入）					
診療用高エネルギー放射線発生装置 （診療用粒子線照射装置）を使用する 医師、歯科医師、診療放射線技師	職種名	氏名	免許番号	放射線診療に関する経歴	

[記入要領]

- 1 診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）の届出は、病院（診療所）として診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）全体を届出するものであり、個々の診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）の更新等の場合も、全装置を記載すること。
- 2 「整理番号」は、病院（診療所）における診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）の台数が分かるよう「1」から連番とすること。
- 3 「区分」は、新設・廃止・更新等、診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）毎の届出の理由を記入すること。なお、更新については、例えば、「整理番号1の更新」等更新前の装置が分かるようにすること。
- 4 「使用室の構造」は、耐火構造、不燃材料使用、その他の別を記入し、その他の場合は具体的内容を記入すること。なお、使用室の材質の全部又は一部が相違する場合は「材質等」の「天井」、「床」、「壁」の欄に耐火構造等について記入すること。

[添付書類]

- 1 診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）の位置を記した診療用高エネルギー放射線発生装置（診療用粒子線照射装置）使用室の平面図及び側面図。（装置からの天井、壁、床までの距離及び防護物の材料、厚さを示すこと）
- 2 施設の防護に関する検査・測定結果（責任者の所属、職氏名を記したもので施工業者・測定業者のものでも可。）及び測定器の校正証明書の写し。理論計算により規制値を算出した場合はその計算書。
※新設又は装置の更新に伴う届出の場合、当該装置を設置する診療用高エネルギー放射線発生装置使用室（診療用粒子線照射装置使用室）の線量限度を超えないことを確認するため、当該室に設置する他のエックス線装置等に係る防護に関する検査・測定結果もあわせて提出すること。
- 3 管理区域を明示した放射線診療関係施設の平面図
- 4 放射線診療関係施設の周囲の状況のわかる平面図の概念図（上下階を含む）
- 5 機器の性能等を記した仕様書
- 6 移動型については保管場所を記した平面図